

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(10歳未満女性1例, 50歳代男性1例)ありました。本年の累積報告数は18例となっています。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(50歳代男性)(第30週追加報告分)あり、本年の累積報告数は19例となっています。
- クロイツフェルト・ヤコブ病の報告が1例(50歳代男性)ありました。症状は進行性認知症・ミオクローヌス・錐体外路症状・小脳症状・視覚異常・無動作無言状態・記憶障害・精神障害・知的障害・不眠で、感染地域、感染経路は不明です。本年の累積報告数は2例となっています。
- 百日咳の報告が8例(10歳未満男性2例及び女性3例, 10歳代女性1例, 40歳代男性1例, 70歳代女性1例)(過去追加報告分含む)ありました。感染地域はすべて国内です。本年の累積報告数は31例となっています。

◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は、急増し前週の3倍を超える0.72(31例)となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 9例(肺結核 5例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 3例
【1月以降の累積報告数 213例(肺結核 93例, その他結核 53例, 潜在性結核感染者 67例)うち喀痰塗抹陽性 52例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数18例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 19例】
- 五類:クロイツフェルト・ヤコブ病 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類:百日咳 8例【1月以降の累積報告数 31例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

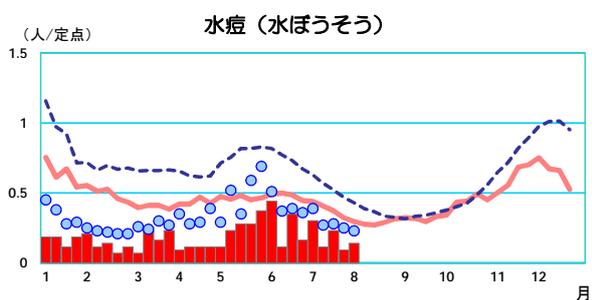
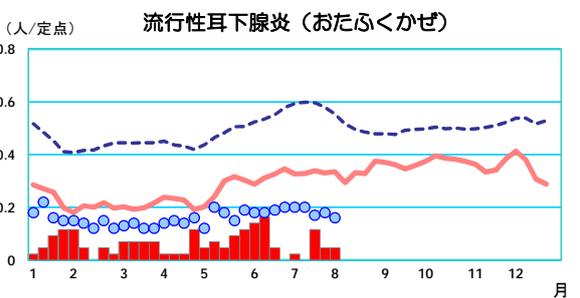
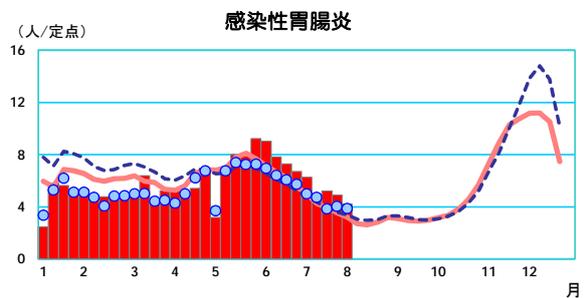
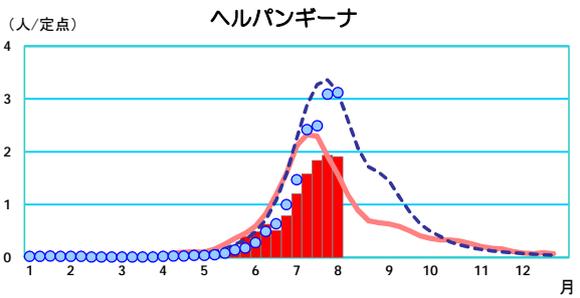
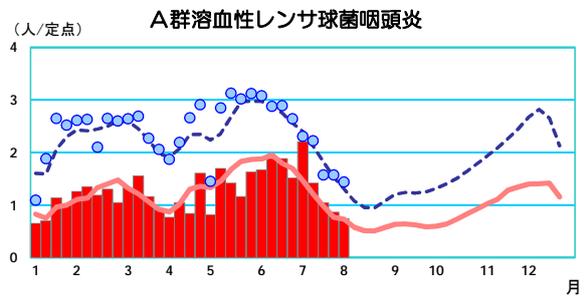
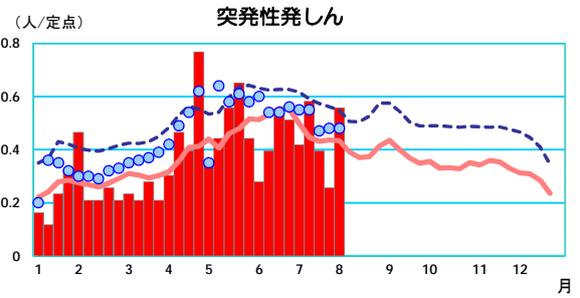
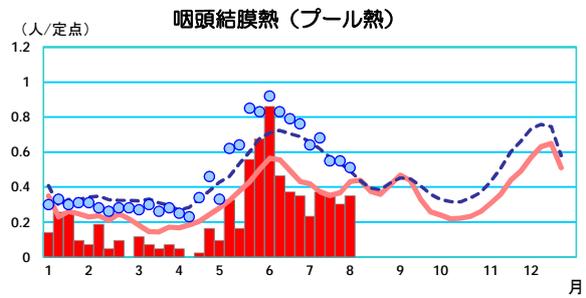
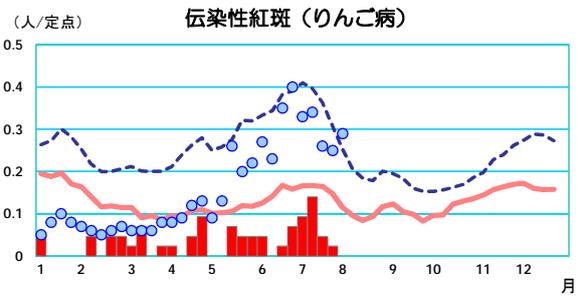
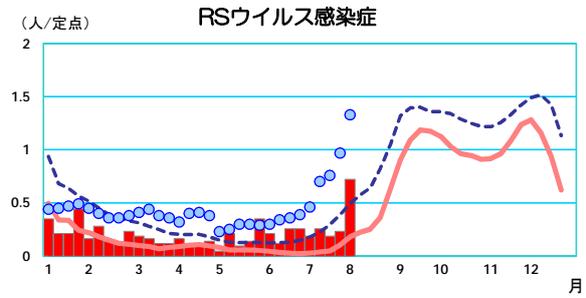
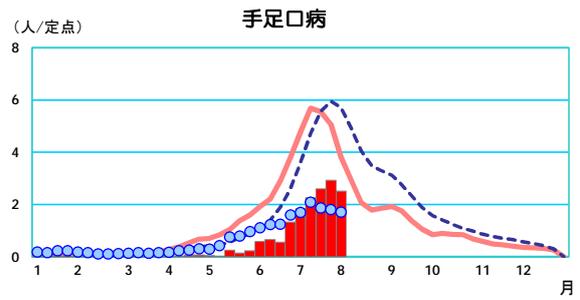
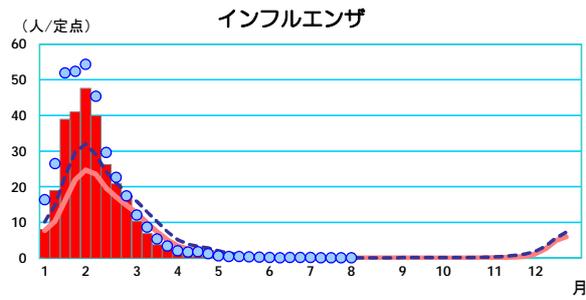
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4. 21	181
	② 手足口病	2. 51	108
	③ ヘルパンギーナ	1. 91	82
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 74	32
	⑤ RSウイルス感染症	0. 72	31
眼科	流行性角結膜炎	0. 80	8

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年8月8日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第31週(7月30日～8月5日)トピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は、急増し前週の3倍を超える0.72(31例)となりました。全国の定点当たり報告数は1.33(4,180例)となり、9週連続して増加しています(図1)。

全国の定点当たり報告数と流行閾値(過去のデータから算出した値で、それ以上報告数が増えたら確率的に非常に多い発生と考えられる値)を比較すると、26週までは超えていましたが、27週～28週は拮抗し、29週以降は下回っています(図2)。

ただし、概ね10万例前後で推移していた全国の年間累計報告数が、昨年約14万例と急増しており(図3)、今年についても注視する必要があります。

また、本年31週までの年齢階級別定点当たり報告数の割合を見ると、1歳以下の割合が全国で76%、京都市で84%を占めています(図4)。RSウイルス感染症は、母体からの移行抗体が存在しているにもかかわらず生後6カ月以内でもっとも重症化すると報告されており注意が必要です。

主な症状は、潜伏期2～8日、典型的には4～6日、発熱、鼻汁などの上気道炎症状が数日続き、その後下気道症状が出現してきます。

RSウイルス感染症にはワクチンや特効薬がないため、予防が重要です。感染経路は、患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスの付着した手指や物品を介した接触感染です。特に、家庭内では両方の感染経路が重複するため、感染しやすい環境といえます。咳などの症状のある大人はマスクを着用し、飛沫による感染を防ぎましょう。また、子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどをこまめに消毒するほか、流水及び石けんによる手洗いで、接触による感染を予防しましょう。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

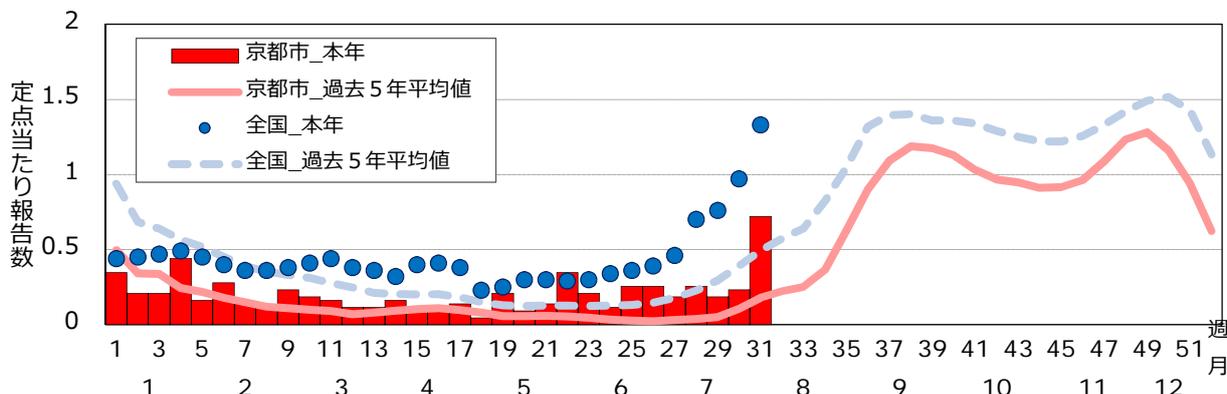


図2 全国の定点当たり報告数の推移と流行閾値との比較

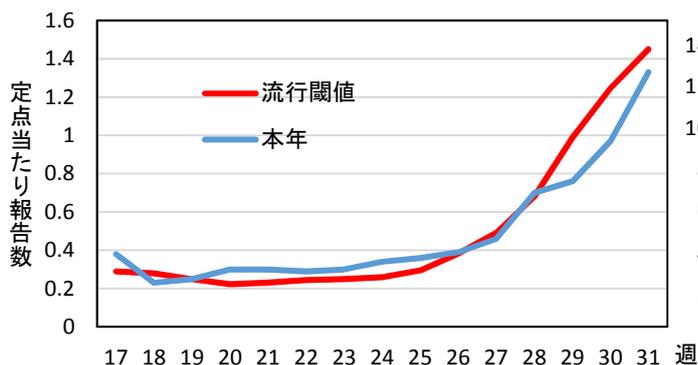


図3 全国の年間累積報告数の推移

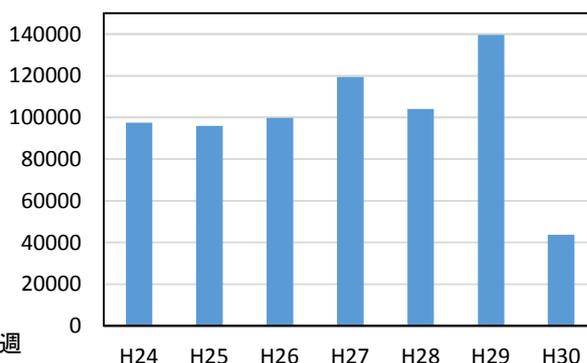
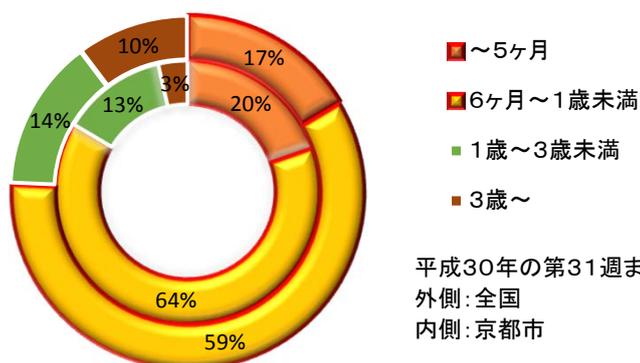


図4 年齢階級別定点当たり報告数の割合



平成30年の第31週まで
外側: 全国
内側: 京都市



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第31週

疾病,行政区別報告数

平成30年7月30日～平成30年8月5日

データ入手日:平成30年8月8日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	1	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	2					
北	-	1	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	2					
上京	-	-	1	1	4	1	4	-	2	2	-	-	-					
左京	1	5	-	4	63	-	19	-	3	9	-	-	-					
中京	-	2	1	2	6	-	2	-	-	5	-	-	1	-	-	-	-	-
東山	-	3	-	-	10	-	2	-	1	-	-	-						
山科	-	10	-	3	6	-	14	-	4	12	-	-	4					
下京	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
南	-	-	1	3	5	1	8	-	2	17	-	-						
右京	-	8	9	9	12	2	18	-	4	10	-	-	-					
伏見	-	1	1	9	50	2	39	-	6	24	1	-	1					
西京	-	-	2	-	21	-	2	-	2	2	1	-	-					
京都市計	1	31	15	32	181	6	108	-	24	82	2	-	8	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	0.25	-	0.25	1.00	-	-	-	-	-	-	-	2.00					
北	-	0.25	-	0.25	1.00	-	-	-	-	-	-	-	2.00					
上京	-	-	0.33	0.33	1.33	0.33	1.33	-	0.67	0.67	-	-	-					
左京	0.14	1.25	-	1.00	15.75	-	4.75	-	0.75	2.25	-	-	-					
中京	-	0.67	0.33	0.67	2.00	-	0.67	-	-	1.67	-	-	0.50	-	-	-	-	-
東山	-	1.50	-	-	5.00	-	1.00	-	0.50	-	-	-						
山科	-	2.00	-	0.60	1.20	-	2.80	-	0.80	2.40	-	-	4.00					
下京	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-						
南	-	-	0.33	1.00	1.67	0.33	2.67	-	0.67	5.67	-	-						
右京	-	1.60	1.80	1.80	2.40	0.40	3.60	-	0.80	2.00	-	-	-					
伏見	-	0.14	0.14	1.29	7.14	0.29	5.57	-	0.86	3.43	0.14	-	0.50					
西京	-	-	0.40	-	4.20	-	0.40	-	0.40	0.40	0.20	-	-					
京都市計	0.01	0.72	0.35	0.74	4.21	0.14	2.51	-	0.56	1.91	0.05	-	0.80	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第31週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年7月30日～平成30年8月5日

データ入手日:平成30年8月8日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	31	6	9	8	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		15	-	1	4	3	3	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		32	-	-	1	1	2	7	9	3	3	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		181	2	20	25	23	14	17	10	8	8	6	7	16	9	16	-	-	-	-	-	-
水痘		6	-	1	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		108	1	8	33	25	17	3	8	7	1	-	1	-	-	4	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		24	-	4	16	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		82	2	8	20	22	8	7	5	7	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	8	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.72	0.14	0.21	0.19	0.16	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.35	-	0.02	0.09	0.07	0.07	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.74	-	-	0.02	0.02	0.05	0.16	0.21	0.07	0.07	-	0.02	0.09	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.21	0.05	0.47	0.58	0.53	0.33	0.40	0.23	0.19	0.19	0.14	0.16	0.37	0.21	0.37	-	-	-	-	-	-
水痘		0.14	-	0.02	-	0.02	-	-	-	0.02	0.02	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		2.51	0.02	0.19	0.77	0.58	0.40	0.07	0.19	0.16	0.02	-	0.02	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.56	-	0.09	0.37	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1.91	0.05	0.19	0.47	0.51	0.19	0.16	0.12	0.16	-	0.02	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.80	-	-	-	-	0.10	-	0.10	0.10	0.10	-	-	-	-	0.10	0.10	0.10	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第31週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年8月8日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	2	-	2	3	3	1
RSウイルス感染症	11	8	11	8	10	31
咽頭結膜熱	15	10	16	15	13	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	65	95	61	45	37	32
感染性胃腸炎	288	270	213	224	211	181
水痘	7	13	5	10	4	6
手足口病	57	79	97	112	126	108
伝染性紅斑	3	4	6	2	1	-
突発性発しん	22	18	25	17	11	24
ヘルパンギーナ	34	52	68	79	83	82
流行性耳下腺炎	-	1	-	5	2	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	2	6	3	7	8
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	510	552	510	523	508	490

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	0.03	-	0.03	0.04	0.04	0.01
RSウイルス感染症	0.26	0.19	0.26	0.19	0.23	0.72
咽頭結膜熱	0.35	0.23	0.37	0.35	0.30	0.35
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.51	2.21	1.42	1.05	0.86	0.74
感染性胃腸炎	6.70	6.28	4.95	5.21	4.91	4.21
水痘	0.16	0.30	0.12	0.23	0.09	0.14
手足口病	1.33	1.84	2.26	2.60	2.93	2.51
伝染性紅斑	0.07	0.09	0.14	0.05	0.02	-
突発性発しん	0.51	0.42	0.58	0.40	0.26	0.56
ヘルパンギーナ	0.79	1.21	1.58	1.84	1.93	1.91
流行性耳下腺炎	-	0.02	-	0.12	0.05	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.60	0.20	0.60	0.30	0.70	0.80
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	12.30	12.99	12.30	12.37	12.32	12.00

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。